

2020NBJ 少年軟式野球クラブチーム滋賀交流大会 大会規定

(2020.7.11 確認)

1. 12 チームによるトーナメント方式とし、試合球は全日本軟式野球連盟公認 M 球（マルエスボール）を使用する。
2. 大会初日に 1 回戦、二日目に準々決勝、三日目に準決勝・決勝を行う。なお、3 位決定戦は行わない。雨天等によって大会日程に変更が生じた場合は大会本部の決定に従うこと。
3. 試合は 7 回または 90 分で新しいイニングに入らないこととする。7 回に至らず 90 分経過した時点で 3 アウトを待たずに勝敗が決している場合はタイミングを見てゲームセットとする。
※(例) 5 回の裏、後攻側がリードし攻撃中、90 分が経過して新しいイニング(6 回表)に入れないと判断し、1 アウト成立後、試合終了とした。
なお、準決勝・決勝は 7 回または 100 分で新しいイニングに入らないこととする。
4. 規定時間及び回数までに勝敗が決着しない場合「特別延長ルール」を適用し、最長 2 イニングまで行うものとする。ただし、準決勝・決勝は 3 イニングまで行うものとする。それでも勝敗が決しない場合は抽選で勝敗を決定する。
5. 「特別延長ルール」は無死走者 1・2 塁、打者は前イニングからの継続とし、走者はその打者からさかのぼった打順からそれぞれ 1 塁走者・2 塁走者とする。
※(例) 特別延長初回の攻撃、その前のイニングが 4 番打者で終わった場合、5 番打者からスタートし、走者は 1 塁に 4 番打者、2 塁に 3 番打者がそれぞれ塁につき攻撃を開始する。
6. 5 回以降 7 点以上の差があるときは、コールドゲームを採用する。(決勝戦は除く)
7. 試合開始後、雨等による試合の続行が審判員によって不可能と判断された時、5 回表の攻撃が完了して、後攻チームが勝っている場合は、成立試合としてコールドゲームを宣言する。(5 回で成立)
それ以前において中止された試合は、成立試合とならず再試合とする。
8. ベンチに入れる者は、事前に登録されている代表・監督・コーチ・スコアラー・マネージャー・選手とする。スコアラー及びマネージャーは選手が兼ねることができる。なお、選手については「選手登録名簿」に記載されている選手の中から 20 名(1 試合毎に変更が可能)までとする。
9. 投手の投球制限については、一人あたり 1 日、100 球までとする。(1 週間の総投球数は 350)
試合中に 100 球に到達した場合は、その打者の打撃が完了するまで投球できる。
10. 投球練習は最初に登板した時のみ 5 球とし、それ以降は 3 球とする。
11. ベンチは大会組合せ番号の若い方(左側/上部)を一塁側とする。
12. 危険防止のため、捕手は試合、投球練習・ブルペンに関わらず必ずレガース・ヘルメット・プロテクターを着用すること。ファールカップも着用すること。
13. バッター及びランナーは必ずヘルメットを着用すること。(ランナーコーチもヘルメットを着用すること。)
14. 手袋の使用については、白か黒を基調としたものとする。
15. 試合中に 5 分間の給水時間を設ける。開始後 1 時間前後で裏の攻撃が終わった時点でアナウンスする。
16. 抗議は、監督だけが行うことができる。ただし、ストライク・ボール・アウト・セーフ・ボークに対する抗議は認めない。また、必要以上の抗議は認めない。
17. 試合前の攻撃順のトスは、第 1 試合は試合開始予定時間の 40 分前。第 2 試合以降は前の試合の 4 回裏終了時、もしくは試合開始より 60 分経過した時点で大会本部前に集合ください。
18. その他の競技規則は、全日本軟式野球連盟のルールに基づくものとする。

<NBJ 大会運営本部>